



THE SAKURA

第20号
'68.8.1
ボーイスカウト
東京103

キャンプによせて

団委員長 渡辺清治

スカウトの皆さん、キャンプを張る日も間近くなってきましたね。キャンプは年間行事の中で一番大切な行事です。口頭行っているボーイ活動の総決算ともいえるべきものが、キャンプ生活です。キャンプはレジャーではない。又、参加すれば良いというものではない。ボーイの皆さんが修得してきた技能、人間的成長さを最大限に発揮する場なのです。

C.S.・B.S.・S.S.各隊はプログラム内容は違って人間形成の場である事には変わりはない。キャンプの成果、不成果は軌道に乗った車輛のごとく、各人が完全回転することが最も必要である。

どんな優秀な運転手があっても車輛が故障して走らない。基本的なものには各人の協力、努力、体力の全力投球である。初参加の隊員の方々は一末の不安があると思うが、先輩諸兄を信頼、尊敬し人間塗の場に早くとけこむ事が必要である。リーダーたる者、常時、車輛の点検をおこたうぬ優秀な運転手のごとく細心の注

意と愛情を全隊員に公平に分ちあたえ、自らも人間的成長の道場とし大いに活躍していただきたい。

スカウトの皆さんは常にほこりと自信をもって行動し、キャンプ地にあってもなるほどボーイスカウトだと信頼される様、努力と行動を忠実励行して下さい。

優秀な当団隊員の御健康を祈る。



我が国には、昔から「可愛い子には旅をさせよ」という諺がある。アメリカでは「子供もを愛するならばキャンプに送れ」といわれている。昔の日本では旅をするといふことは世間をよく見てこの世の苦勞を味わうこと、他人のめしを食っていること、という意味であったことは誰でも知っている。

アメリカでは組織的な教育キャンプがよく飛達している。民主的な教育を受け、その教育は、このキャンプの門をくぐって、そこで教育される。なければならぬ。今日では親たちの考えが一致して、子供も今日では親たちの明確な理由をもって子供も私たちをキャンプに送っている。

（香藤忠次著）
キャンプカウンセラーより

野営地で新入隊員に望むこと

流星班 広川 定司

可協力

そう、これさえ守ってもらえれば、もう他に望むことはない。野営地では、この協力ということが一番大切だと思う。

野営地で、自分の物を大切にしようとする、これはだれでも同じだと思う。ことに初めての野営になると、自分の物は自分のそばに置いておかないと気がすまないものだ。

自分の物を大切にすれば、それはとても良い事だと思ふ。しかし野営地では、班の事又は、隊の事を一番大切にしてほしい。

みんなが自分の物を大切にするように、隊の事も同じように大切にするように努力してほしいのだ。

それには、野営にくる時にしっかりと、荷物を持ち物は、班隊にあずけたのだと命じてもらうたい。

そうすれば一人一人が、みんなの物を大切にできるのと同じに、自分の物にかかっている時間、班、隊の活動にかかっているので、みんなが

一つのことに協力できる。みんなが協力できず、班活動、隊活動に支障が起きてしまう。

今日のうた

しずかにふけゆく
キャンプのよる

やすらかにねむれと
かねがなる

ゴーン ゴーン
ゴーン ゴーン
ゴーン ゴーン

B・Pの言葉



荷物をまとめた場所をきれいにしても、あなたがその場所を使わせていたことを終るために感謝するまで、あなたはキャンプを



B.S. 8月のプロ

8 木 野 営	8日	5:30 A.M. 本部集合 現地到着後設営、開拓
	9日	南拓、水浴
	10日	ハイキング
	11日	技能章(野営章、炊事章等) 夜間訓練
	12日	南拓、大営火
13 火	13日	撤営、 5:30 P.M. 本部解散予定

野営地は山梨県韮崎市近くの石空川流域です。

野営の前後に集会を持ちますが、詳しい事は追って連絡致します。

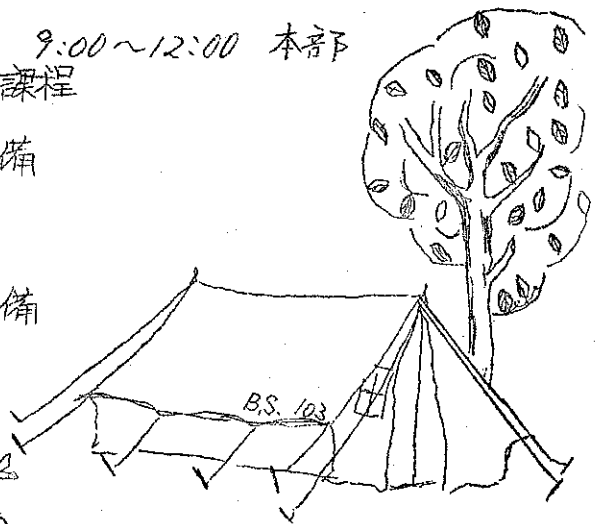
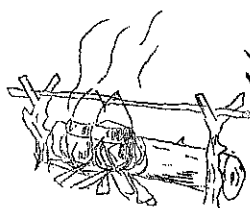
B.S. 7月の動き

7月14日 グリバー訓練 9:00~12:00 本部
基本動作、一級課程

7月21日 班集会 野営準備

7月28日 野営の為の父兄会

7月31日 隊集会 野営準備



さ く 5

C.S. 8月のプログラム

3 ± 〜 舎 営 〜 7 水	3日	5:40 本部集合 1:30 PM 舎営地到着予定 到着後部屋割、付近探索等
	4日	青木湖へハイキング
	5日	八方尾根登山 (ケーブル、リフトを使用) 夜はソング大会
	6日	村の観察 ふじこの養殖等を見学します 夜はキャンプファイアー
	7日	1:30 PM 舎営地出発 9:00 PM 本部帰着予定

舎営地は八方尾根山麓白馬村
往復共バスを利用します



今月のテーマ 自分のは自分で
◇家庭プロジェクト◇ 身の回りの整理、整頓

C.S. 7月の動き



7月14日 東京国際空港見学
浜松町よりモノレールに乗り空港へ。まず格納庫で
整備中の飛行機を近くから見せて頂き、実際に中に
入り、操縦席、客席に座ることができました。皆、
計器盤の複雑さに目を見張っていました。束の間、
機長の気分を味わった後、お弁当を食べ、その後、
様々な飛行機の離着陸を長い間観察しました。

7月21日 組集会 舎営について
これに先立ち舎営の為の西親会が行われました。

7月28日 隊集会 舎営の為の荷物点検
みな大体合格のようです。

☆ 名前はずつつけましょう。 ☆

